



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

救急カレーのお味はいかに？



前号でもお知らせしましたが、6日(月)は、防災給食ということで備蓄してある「救給カレー」、そして「カンパン」「パック牛乳」「フルーツポンチ」がメニューでした。

おそらく初めての体験かと思いますが、いかがだったでしょうか。もちろん通常の食事のようにいきませんが、それでも備蓄してあるレトルト食品で、ここまでの味が出せることには驚きです。お湯どころか水もいらずにそのまま食べてカレーの味がするのですから。

食事中の3年生の教室を尋ねてみました。「どうですか？」の問いかけに、「美味しいです」と「美味しくないです」が同時に返ってきたのには思わず苦笑い。まあ味の好みは人それぞれですから。それでも、普段の給食とまったく変わらない風景がそこにあったということは、十分な食事であったということでしょう。

何事も経験ではありますが、できることなら今後、被災して備蓄食品を食べるような経験はしたくないものです。



グラウンド工事が長引きます



グラウンドの土の入れ替え工事、門扉改修工事、フューチャーホールーム新設工事等、それぞれ佳境に入っています。

ここで一つ。お詫びをさせていただきます。グラウンドと門扉の工事は3月10日に完了予定でしたが、グラウンド工事につきましては、思った以上にグラウンドの土の状態が悪いことにより、大幅な遅れが生じています。そのため完了予定が3月31日となりました。

とうことで、申し訳ありませんが、卒業式までに完了が不可能となりました。卒業する3年生には大変ご迷惑をかけます。

また野球部・サッカー部の練習にも迷惑をかけます。

工事のことですから、なかなか思うようにはいきません。新しく生まれ変わるための「産みの苦しみ」とでも言えるでしょうか。どうかご理解をよろしくお願いします。

3年生は、心の目で見えて、自分たちが走り回ったグラウンドを心に焼き付けて卒業してください。



配られたトランプをどうする？



南棟1階の廊下を歩いていると、図書室の上の窓に貼ってあるこんな掲示物を見つけました。

「配られたトランプで勝負するっきゃないのさ」…トランプつながりで考えると、すごく意味深な内容ですね。

「選ばれたトランプで勝負していくアメリカ」…世界中がその一挙手一投足に注目しているわけですが、その勝負に出たアメリカが日本に与える影響や如何に？

誰がどんな経緯でこれを貼ったのか興味が湧いたの

で、司書の長船先生に尋ねると、図書委員長の文徳さんが選んだのだとか。生徒が選んだと知り、さらに興味が湧いたので突撃インタビュー！

元からトランプ大統領にかけたものではなく、「スヌーピー」の名言集から選んだそうですが、これを選んだ時に、「あ、これは！」と、トランプつながりを感じたそうです。時事問題につなげていける感覚はお見事ですね。ナイスタイミング、でした。

トランプ云々（うんぬん）は関係なく、「無い物ねだりをしない」とか「自分の置かれた環境の中で頑張る」とかの意味合いがあるものなのでしょう。渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という本も有名ですね。

これからは伊里中学校では、このような言い回しをする場合、「配られたトランプで勝負するっきゃないのさ」でいきましょうか。でもいきなり「ジョーカー」なんか来たらどうしましょ。どうせなら「ハートのA（エース）」がいいですよ。でもなかなか「ハートのAは出てこない（by キャンディーズ）」んですよねえ（苦笑）。



明日から大一番！心より健闘を祈る！！



祈 合格！

信 合格！



いよいよ明日は県立一般入試です。ここまでくればもうジタバタしても始まりません。

やってきたことを信じて、力を発揮し、合格を勝ち取るのみ。みんなのここまでの頑張りは、しっかり見せてもらいました。

心の底から受検する生徒諸君を応援し、絵馬のプレゼント。みんながんばるといって！！

伊里中学校生徒、教職員全員で、全力で応援しています！

「いまやらねばいつできる わしがやらねば誰がやる」 by 平櫛田中（岡山の生んだ彫刻家）